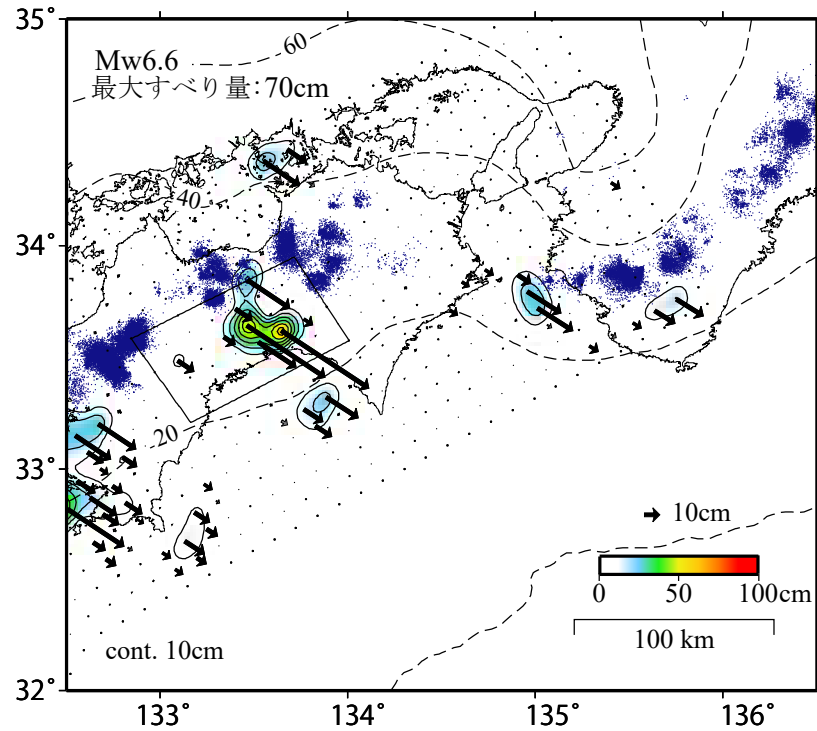
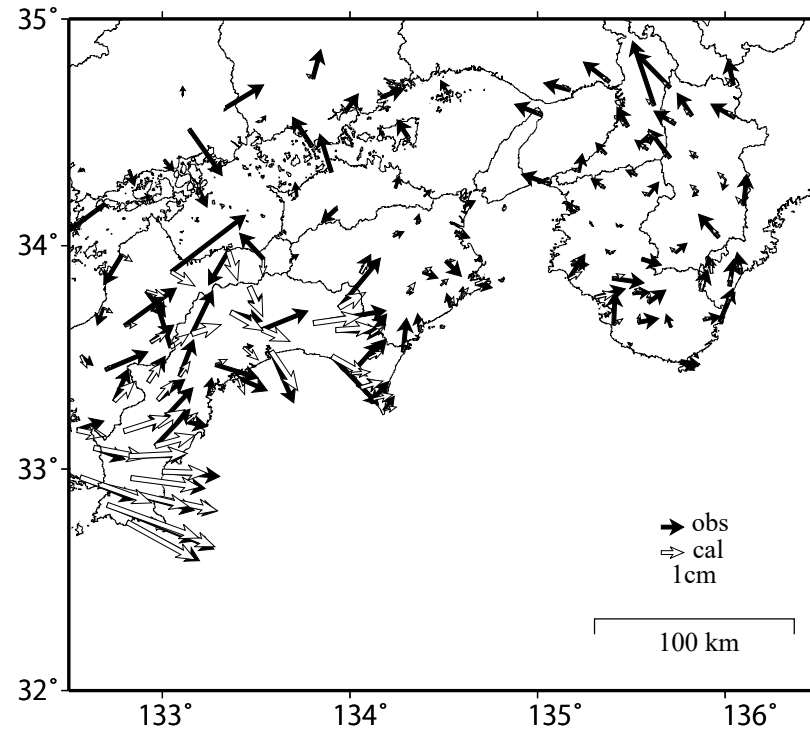


# GNSSデータから推定された四国中部の長期的ゆっくりすべり（暫定）

推定すべり分布  
(2019-01-01/2025-08-07)



観測値（黒）と計算値（白）の比較  
(2019-01-01/2025-08-07)



Mw及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。  
すべり量（カラー）及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。  
推定したすべり量が標準偏差(σ)の3倍以上のグリッドを黒色で表示している。

使用データ: GEONETによる日々の座標値 (F5解、R5解)

F5解 (2018-01-01/2025-07-19) R5解 (2025-07-19 /2025-08-07)

トレンド期間 (九州・四国西部): 2006-01-01/2009-01-01 (年周・半年周成分は補正なし)

(四国中部): 2017-04-01/2018-04-01 (四国東部・紀伊半島): 2017-01-01/2019-01-01

モーメント計算範囲: 左図の黒枠内側

観測値: 3日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値

黒破線: フィリピン海プレート上面の等深線 (Hirose et al., 2008)

すべり方向: プレートの沈み込み方向に拘束

青丸: 低周波地震 (気象庁一元化震源) (期間: 2019-01-01/2025-08-07)

固定局: 上対馬

\* 電子基準点の保守等による変動は補正している。

\* 平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震及び平成28年(2016年)熊本地震の粘弾性変形は補正している (Suito, 2017, 水藤, 2017)。

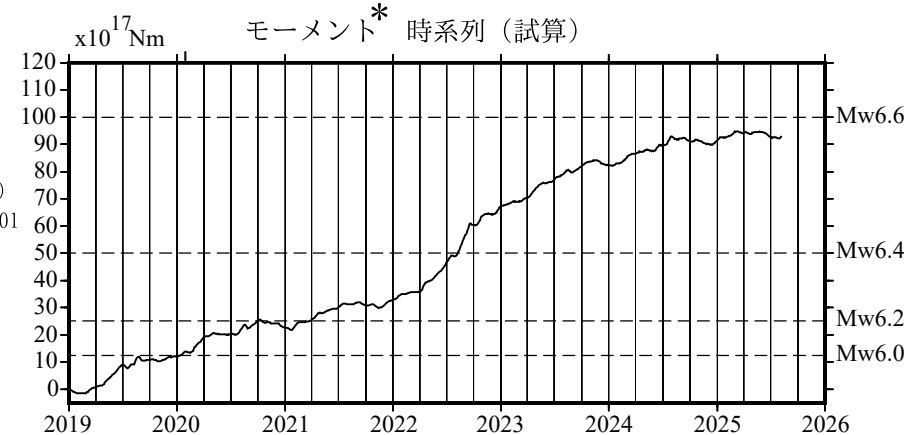
\* Nishimura et al. (2013) 及び気象庁カタログ(2017年以降)の短期的ゆっくりすべりを補正している。

\* 共通誤差成分を推定している。

\* 種子島の地震(2019-01-08, M6.0)日向灘の地震(2019-05-10, M6.3; 2022-01-22, M6.6)に伴う地殻変動は補正している。

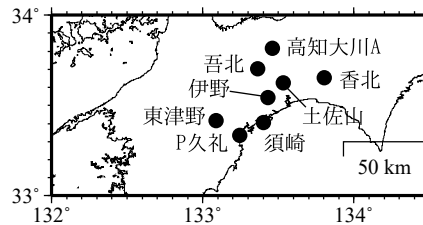
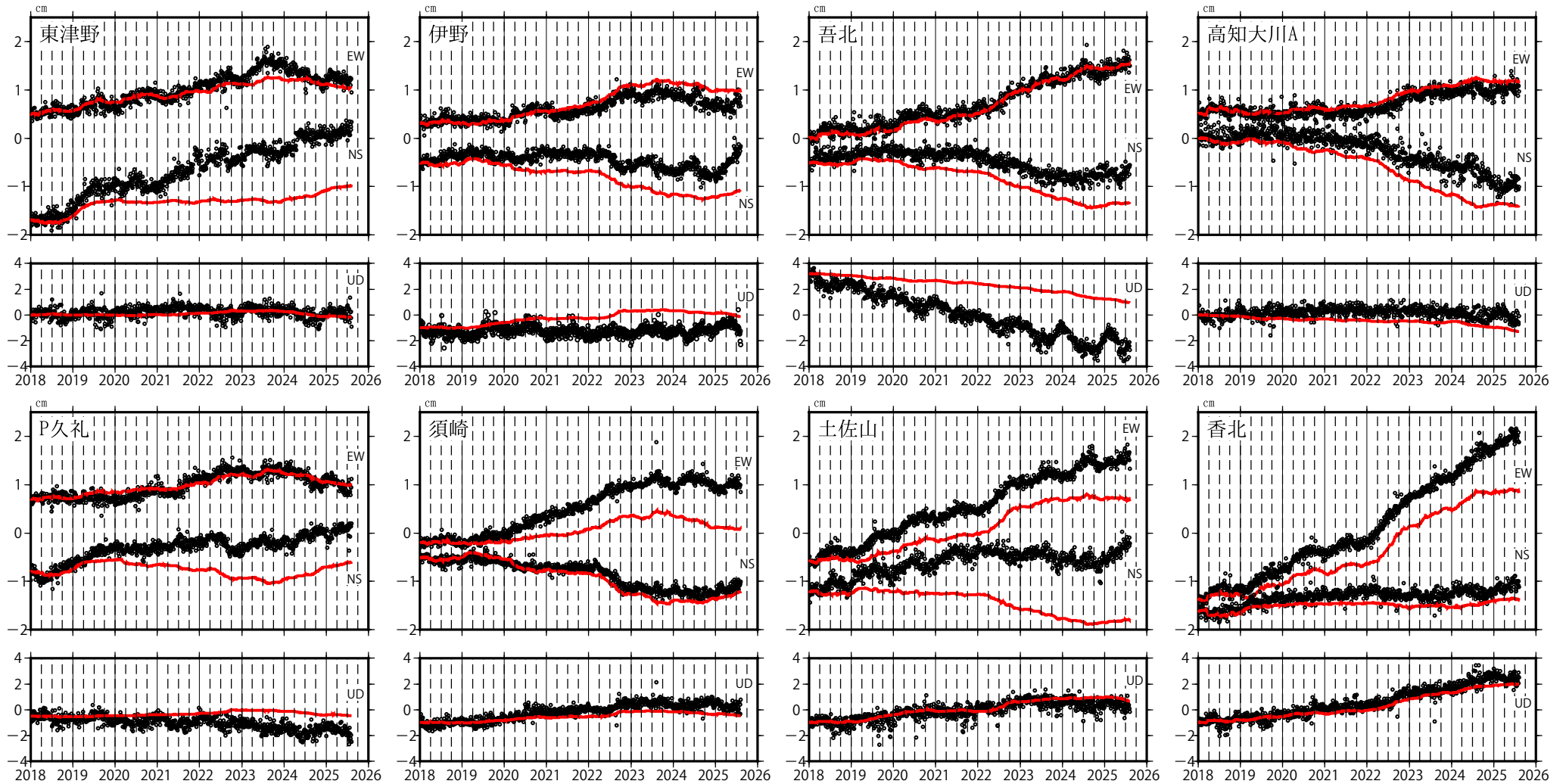
\* 豊後水道の地震(2024-04-17, M6.6)日向灘の地震(2024-08-08, M7.1; 2025-01-13, M6.6)に伴う地殻変動は補正している。

\* 令和6年能登半島地震に伴う地殻変動は補正している。



# 四国中部の観測点の座標時系列(黒丸)と計算値(赤線)

## 時間依存のインバージョン



EW, NS, UD: 東西、南北、上下変動